

Structure Kansai No 11 '85・7

第4回関西支部総会開催

第4回構造家懇談会関西支部総会が、開催されました。

●支部総会

日時 昭和60年4月17日(木)

14:00~15:00

場所 建設交流館 8階大ホール

出席者 44名(委任状54通)

司会 侯野 博氏

議長 進藤汎海氏

書記 宇藤 功氏

議事 昭和59年度事業および決算報



支部総会 支部長挨拶 久徳敏治

ただいま支部長に推挙されました久徳でございます。お陰様で本支部も四年目に入りまして、準会員も含め151名まで成長いたしました。で、昨今では皆様方の努力によりまして、あるいは会としてのPRもいきとどきまして広く建築界で構造家懇談会というものが認識されるようになってきております。こういう際新年の賀詞交換会におきまして矢野代表は組織の活性化あるいは国際化を本年の課題としてうたいあげました。当支部で考えますと、先程らい平田理事のご説明にございましたような構造士の動きであるとか表彰制度であるとか、斬新なことをとり入れて活性化をはかって行きたいと私は考えております。

で、時代はハイテク化、OA化が進んでまいりまして、一級建築士という肩書だけではもう飯のくえないような時代になりつつあります。そういう状況下で、すばらしい企画力やすぐれた技術力というものを磨いていく一つの母体として一層のご努力、ご支援をお願いいたします。

告、規約一部改定、役員選出、昭和60年度事業計画と予算案審議等が行なわれ、役員には支部長に久徳氏、副支部長に青柳、能勢両氏が選任され、さらに支部理事として上記3名以外に8名計11名が選出された。(後述3頁参照)また平田氏より構造士制度についての状況説明が行なわれ、引き続き昭和59年度JSCA関西構造家賞表彰があり、松岡氏が賞を受けられた。最後に新支部長より挨拶があり、本総会を終えた。



●講演要旨

「建築鉄骨の設計」という題で、深井氏は、鉄骨分科会のこれまでの活動内容と、設計者からみた建築鉄骨設計の最近の傾向を話された。分科会の活動として、鉄骨仕口構造、フラックスタブ等のコスト比較、溶接工技量検定試験案の検討、見学会などを概括、建築鉄骨設計に関し、最近の中小規模の建築での鉄骨構造の増加の理由として、新耐震法の関連を上げ、コラム構造の採用など、ディテールの変化についても言及された。

2番目に金多先生より「最近の建築鉄骨について」ということで、最近、京都特有の古い街並が、どんどん鉄骨構造に建て換えられてゆく現況をみて、中小規模の鉄骨造の増加の実感を話され、さらに鉄骨生産の最近の状況について、全構連及び鉄建協の工場自主認定制度の発足のきっかけ、工場側の鉄骨製品の自主検査への移行などにより最近の加工工場の技術向上、技術の均一化を述べる一方、将来の不安材料として、工場従業員の高年令化を述べて、若い人にとって魅力あ

●講演会

総会に続き、同ホールに於て丸岡義臣氏の司会により、建築鉄骨に関する講演会が開かれた。(出席者78名)

講師 深井敬三 ㈱日建設計
金多 潔 京都大学教授
松井繁明 川崎重工業㈱
五十嵐定義 大阪大学教授

●懇親会

講演会終了後、学会会員である五十嵐、山田、井上3先生とともに会員49名が出席して懇親会が催された。



る環境づくりに努力する必要があるとまとめられた。

3番目に、鉄骨を作る側の代表として、松井氏より「溶接技術の最近の進歩と今後の傾向」を話された。石油ショック以前は、溶接技術は、量の拡大がテーマであったが、石油ショック以後、現在は、高品質材料、高品質溶接、即ち、TIG溶接、電子ビーム溶接、レーザー加工・溶接であり、ロボット化、自動化などに変わってきた。将来は、複合化時代となるであろうから、異種材料同志の溶接、即ち、幅広肉盛溶接、摩擦溶接、拡散溶接など将来技術も紹介された。

最後は、五十嵐先生より「建築鉄骨の問題点」ということで、初めに、建築全般に対する最近の「熱気」、建築における高度先端技術とは、何だろうかなどの実感、次に建築鉄骨の問題点として、最近の鉄骨加工工場の技術生産能力のupにより需要に対するアンバランスが生じる不安感、さらに、建設業や、構造技術者の将来展望など、感想、予測を混じえながら、多岐にわたった話をされた。

J S C A 関西構造家賞表彰

能勢善樹

総会の議事終了後、第2回のJ S C A 関西構造家賞の表彰が行われ、賞は正会員松岡宏之氏に贈られた。

松岡氏は建築構造の行政部門、審査指導の仕事（尼崎市都市開発局指導部建築審査課）をして居られる。その間、同一職場に20年、審査件数約15,000件は、全国レベルでも稀有の事である。建築構造の指導行政については、その範囲、権限等について諸々の議論が常に言われるところであるが、担当者の力量不足のため、ややもすれば本質から離れたところで指導がなされる場合があることも否定できない。松岡氏は単なる計算細部の問題より、設計の基本である計画に視点を置いた姿勢を貫いておられ、この事は同氏の職務に対する情熱のしからしむるところとはいえ、日常の研鑽なしには、なし得ぬことと思われる。構造設計の確認業務の大部分を占めるものは、構造技術者といっても、未熟ないわゆる計算屋の手によるものという現実の中で、構造物安全性のレベル向上のために、一貫して盡力してこられた業績が評価されたものである。

今回は会員からの推せん、松岡氏1件

のみ、応募はなかった。この事はまず第一に会員に対するこの制度自体のPRの不足が考えられ、次回からは期間の余裕をもって会員各位の協力をお願いすることが必要と思われる。表彰規定の内容についてご意見あれば、遠慮なく事務局を通じて申し出いただきたくお願いします。

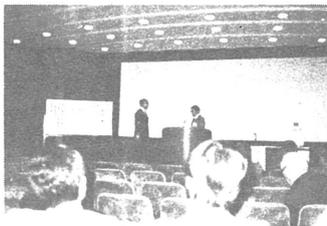
構造家懇談会関西支部表彰規定

表彰の対象

本会の目的に照らし建築構造に関する学術技術に貢献した正会員個人の業績

業績

建築構造の設計・監理・研究・開発・施工・その他に関する業績



選考対象

会員が推せんまたは応募したもの

選考資料

業績の内容を説明できる資料、なお、

内容を示す梗概をつけること
選考の必要上、さらに詳細な資料の提出を求めることがある。

推せんの場合は原則として推せん者による推せんの言葉（100字程度）を添付のこと。応募の場合は不要
表彰は総会の席上で行う。

選考委員会

委員は理事会協議の上、支部長が委嘱。委員の数は5名とし、委員長を互選。委員の任期は1年とする。

その他

理事は選考の対象から除外する。
既受賞者への重賞はなるべく避ける。

資料の取扱い

提出先は支部選考委員会
資料の返還を希望する場合は返却する。

提出期間 毎年3月1日～3月末日
表彰

賞はJ S C A 関西構造家賞と称する。表彰者の数は3名以内とする。表彰は賞状および記念品とする。表彰は建築関係誌上に発表する。既発表の業績も対象とすること可。適当なものがなければ表彰しない場合もある。

第2回授賞によせて



思いもかけず、J S C A 関西構造家賞を頂き、驚きと恐縮と共に、心から光栄に存じております。

考え直してみれば、この光栄はただ単に私だけが頂いたものではないと、申し上げるより他ありません。

何よりも、20年間同一職場で同一職務を勤めさせていただいたことがその根底になっているのであります。やれ管理職にはならない、やれ専門職をもっと優遇しろと、文句を百万遍もたれている小生を、かくも長い間辛抱強く使ってくださいました係長から局長にいたる歴代の私の上司各位、しいてはこの間3代にわたる市長の寛容とに、改めて深く感謝いたしております。

この限りにおきまして、今回のこの賞は、決して私一人が頂いたのではなく、私を通じまして、尼崎市が頂いたものであると確信している所であります。

次に御礼申し上げたいのは、私に理論上、技術上、色々貴重な御指導をいただきました多くの方であります。

それが大学であれ、ゼネコンであれ、又ファブリケーターであれ、紹介はおろか前ぶれさえもなしに、突然質問をぶっつけると云う失礼な行為に及びました時でありまして、ケンもホロロにあつかわれたことはただの一度もありませんでした。

文献の教示、資料の提供はもとより、御個人の貴重な体験談までも含めて、教えていただきました多くの知識は、個人の学習や役所での打合せ等などでは、とても得ることのできない所のものであつ

尼崎市 松岡広之

たのでありまして、このような御厚意をお受けできたことは、技術者として真に幸せであったと、しみじみと思い直している次第であります。

私が学会や、このJ S C Aに入会させていただきましたのも、このような機会を通じて多くの各位からのおすすめや説得があったからなのであり、もしそのようなお話がなかったならば、当然今回のこの光栄にあづかることもなかったわけなのであります。

そして最後に、出世もしない私の、この間の少なからぬ出費にも、さして文句もいわずに自分の稼ぎを吐き出してくれました私の家内のありましたことを、又あえてここに書き加えることの僭越も、是非お許しいただきたく存じている次第であります。

● 構造家懇談会 関西支部役員

1. 支部理事 (○印は本部理事)
- | | |
|-------------|---------|
| (支部委員会) | (本部委員会) |
| ○久徳敏治《支部長》 | (法人化) |
| ○青柳 司《副支部長》 | (技術) |
| (技術) | |
| ○能勢善樹《副支部長》 | (組織) |
| (総務) | (業務・報酬) |
| 川崎福則《事務局》 | |
| 須賀好富 | |
| ○林 保 (財務) | (財務) |
| ○樋口元一 (広報) | (広報) |
| 平田定男 | |
| 前川陽一 | (土法対策) |
| 真塚達夫 (事業) | (事業) |
| 松谷輝雄 | |

2. 支部監事

長田正雄《会計監査》

3. 技術委員会・分科会主査

- | | |
|-----------------|---------|
| (支部委員会) | (本部委員会) |
| 内田直樹 (鉄骨) | |
| 須賀好富 (RC) | |
| 松谷輝雄 (PC・プレファブ) | |
| 青柳 司 (コンピュータ) | (同左) |
| 加藤裕造 (地盤・基礎) | |
| 金沢正明 (耐震設計) | |

● 支部の動き

- ・ 4/17支部理事会
- ・ 4/17支部総会・講演会・懇親会
於建設交流館
- ・ 4/23広報委員会—Structure No.15
の編集、Structure Kansai
No.11の企画
- ・ 5/30広報委員会—Structure
Kansai No.11の編集
- ・ 技術委員会の活動
PC-5/17PC構造設計チェック
ポイント作成
基礎-5/17活動方針、6/17
コンピューター5/28活動テーマ
懇談

● 東京の動き

久徳支部長、副代表に選出される。
5/24、昭和60年度総会が鉄鋼会館にて開催され、矢野代表の挨拶に続き59年度事業および決算報告、60年度事業および予算、会則改定の審議が行なわれました。引続き理事の選出に入り関西支部から青柳、能勢、林、樋口、久徳の5氏を含め38名の新理事が決定しました。直ちに開

「技術委員会分科会の活動状況について」

関西支部技術委員会の分科会が活動を始めて2年たちました。各分科会とも活発に活動していて嬉しく思っています。分科会の成果として定例研究会・講演会を行う場合もありますが、定例の会にも会員の皆様が出席できるように運用していますので、積極的に御参加下さい。事務局に問い合わせれば日時・場所が解ります。自分達の技術委員会です。おおいに利用して下さい。(青柳 司)

鉄骨分科会

内田直樹

59年度の活動は外部に目を向けることを意識して見学会を活発に行いました。即ち、本四連絡橋の仮組、電炉メーカーの製造工程、電子ビーム溶接の見学会の他香港上海銀行の現場にも足を運ぶことができました。また外部の専門家を招いてフラックスタブと柱脚の勉強会を行いました。外部団体との交流としては全構連の講習会や試験、鉄建協技術委員会との懇談会等を前年度に引き続き行いました。

RC分科会

須賀好富

技術委員会RC分会では前年度に引き続き「ひび割れ」を中心とした研究をしていきたい。そしてRCの耐久性向上の手法を確立し、会員諸氏に情報を提供したい。

つづいて「鉄筋工事」について全国鉄筋業協会から刊行された施工マニュアルを検討することも考えている。これらの結果は東京の分科会に報告し、相互連絡をはかっていく。

PC、プレファブ分科会

松谷輝雄

当分科会は9名で構成され、奇数月の第3金曜日に委員会を開催しています。昨年は構造設計者の立場での工事管理要領としての資料(PC工事施工管理チェックポイント)をまとめました。また各委員の設計例も資料(データシート)集とし、今秋には会員の皆様と定例研究会の場を持ちたいと考えています。今年の主テーマは「PC工事設計チェックポイント」の作成をかかれています。

基礎分科会

加藤裕造

60年度は、日頃、会員諸氏が設計上、直面されている問題、管理・申請業務における疑問など、実務上の基礎構造に関する問題点を調査し、その内容の分析、解決方法の検討をおこなう予定です。この調査・検討の結果がまとまれば、報文または討論会の形で、各界へ広報したいと考えています。この活動の成否は、先ず、調査結果にあります。会員諸氏のご協力をお願いします。

コンピュータ分科会

青柳 司

コンピュータの利用は非常に幅広くかつ日進月歩です。そこで情報交換が非常に重要になります。本年も情報交換を主体とした懇談会を5回と座談会を1回計画しています。座談会のテーマは“コンピュータ利用について”とだけ決めサブテーマはこれから決定します。分科会の開催は奇数月の第4火曜日午後5時から、場所は㈱日建設の2階3号応接を原則としています。多数の参加・歓迎です。

耐震設計分科会

久徳敏治

偶数月の開催を予定していながら、昨年度は神大山田教授による山崎断層地震の震害報告をもつにすぎない低調さに、いたく責任を痛感いたしております。本分科会は守備範囲が広いだけに重要なテーマをいくつか積みこしてあり、とくに“Damage controlかLife safetyか”の支部担当テーマを中心に、新年度は主査を金澤正明氏にバトンタッチして、活性化をお願いいたしたく念じております。

かれた理事会で代表に矢野氏、副代表に木村、久徳、山口の3氏を選出、各委員長、各支部長と共に新主務役員が決定されました。また関西の平田支部理事、小泉前会計監査の両氏が特別会員に推挙されました。矢野新代表は挨拶の中で本年

は法人化、専門建築士について積極的に対応、業務報酬委員会で精力的にまとめられたリポートを公にして行くと共に技術委員会活動を更に充実し当会をより発展させたい旨を明らかにしました。

●会員の紹介

石ヶ谷 充

- 勤 ㈱梓設計大阪支社
- 趣 テニス



大阪に転勤して来て5年になります。やっと仕事にも馴れてきました。最近、余暇を利用してテニスをしています。運動不足解消のために始めたテニスですが、今では週末の日課の一つになっています。定例研究会にもできるだけ参加していきたいと思ひます。よろしく

永田 完治

- 勤 大林組本店設計部
- 趣 「美術館めぐり」

勤務先のビルからは市街が一望できる。鈍い光の中のこの都市がいかに色彩感が乏しいかと。大小様々で統一もなく単調な色彩のビル群、とりわけ緑の少なさ。かつて過した異国の果しない緑、赤や褐色の瓦、めくるめく日射しの中の陰影も鮮やかなビルの点在、の光影が懐しい。

久徳 敏治

- 勤 ㈱竹中工務店
大阪本店設計部
- 趣 バイク、油絵、読書、
酒、園芸、器楽



疎開先の寒村で南海地震を体感し、駅前の潜函工法に触発されて建築構造に傾倒し、以来25年有余、構造設計に励んできました。この間、恵まれた環境、活気ある時代に支えられて楽しい経験をいたしました。今後はこの体験をよき糧として後輩の育成に精進したいと思います。

北川 高行

- 勤 富家建築事務所
- 趣 ゴルフ



当懇談会が発足して4年になるようですが、此度支部総会に出席し、同じ職能を持つ方々とお会いし、お話することが出来、非常に楽しく有意義であったと思ひます。御自分の職能以外に技術分科会で多くの方々が参加し、調査研究されているのに驚嘆し、反省している昨今です。

花島 晃

- 勤 ㈱日建設計
- 趣 テニス、読書(推理小説)



構造設計に携さわって15年、一応の設計は出来るようになった気はするが、本来、設計とは、非常に幅広い専門的知識を必要とすることを痛感する。日常の仕事の中でそれを求めることは難しく、与えられた機会を活かしてゆきたい。

山本 孝昭

- 勤 ㈱安井建築設計事務所
- 趣 テニス、囲碁



めんどろな計算を人間から解放し、人間のもつ創造的側面への関与を求めて、ソフト開発に苦節10年。コンピュータにも感情移入し、冷たい機械ではなく、暖かい・ぬくもりのあるものとし、人間の手足とし、又頭脳の一部として活用してゆく必要があるのではないのでしょうか。

古久保 恵一

- 勤 ㈱竹中工務店
設計部構造課
- 趣 (乱読)・家庭菜園



最近感じ入っていることば
○少年老いやすく学成り難し
○映るとは月は思はず、映すとも水は思はず
○花の咲かない冬の日、下へ下へと根を伸ばせ

樋口 元一

- 勤 ㈱大林組本店
建築設計第四部
- 趣 囲碁、ゴルフ



人間への評価は、その人の持つ最高の能力に対してなされるが、構造物ではその能力の一番低い所が全体の性能を左右するように思われる。構造家懇では技術面の交流に人間的な交流も重ねて益々盛んにやりたいものである。(広報担当)

若林 嘉津雄

- 勤 ㈱日建設計
- 趣 庭園観賞



京都に住んでいるおかげで名園を鑑賞する機会に恵まれています。しかし、まだまだ拝観したい庭園が多く、平素非公開のものの特設公開があると、欠かさず見に行くようにしています。名園は思い浮べるだけでも心を和ませてくれます。自宅にもささやかな枯山水庭を作って手入れを楽しんでいます。

■第3回構造家懇談会関西支部

ゴルフ親睦会 報告

スタートする頃には小雨もあがり、目にしみ入るグリーンに向って第一打が気持ちよく大空に舞い上がり、上記のコンペが開始されました。5月29日に今回も馬瀬さんの幹事で「伏尾ゴルフクラブ」に於いて、関西大の山肩先生も参加され総勢25名で行いました。当日の成績は右表の通り、優勝は幹事である馬瀬さんが5アンダーの驚異的スコアで、2位には高令にもかかわらず奮斗された高田機工の塩家さんに、3位には武智工務所の藪内さんに決まりました。4位までがアンダー、パーで、入賞のレベルは高いのですが、参加者の平均ストロークは、103.16で昨年秋よりも下廻っています。

プレー後、表彰式を兼ねたパーティーを行い、次回11月初旬の「伏尾ゴルフクラブ」での第4回の再会を約し散会としました。(真塚達夫)

ニアピン 日下、田中、金岡、田中 ドラゴン 原、金岡
次回ハンディ 馬瀬 7 塩家 31 藪内 13

●事務局よりのお知らせ

・関西支部では毎年総会において構造家賞の表彰があります。規定に則り奮って応募して下さい。

・技術委員会分科会の活動が始まっています。参加希望の方は直接分科会世話人あるいは支部事務局へご連絡下さい。

成績表

	GROSS	HD	NET	RANK
馬瀬 芳和	79	12	67	優勝
塩家 正三	104	36	68	2位
藪内 貞男	86	15	71	3位
広浜 武雄	85	14	71	4位
原 雅昭	98	26	72	5位
山肩 邦男	101	28	73	
日下 英雄	93	20	73	7位
山口 和成	93	18	75	
渡辺 博	97	22	75	
近藤 正広	106	30	76	10位
金岡 義美	91	14	77	
土井 和昭	95	18	77	
谷尾 俊弘	98	21	77	
川村 佳則	99	20	79	
吉田 博史	107	28	79	15位
山森 功雄	96	16	80	
真塚 達夫	95	15	80	
川村 紘一	116	36	80	
伊藤 孝	106	24	82	
徳永 雄一郎	119	36	83	20位
平見 殖	111	23	88	
丸岡 義臣	124	36	88	
松浦 英一	123	30	93	
田中 昭美	117	22	95	BB
三好 裕可	140	36	104	

発行 構造家懇談会関西支部事務局
川崎建築構造研究所 TEL 231-3112